

市長の行財政改革報告



行財政改革を進めていくうえで重要なことは、市職員の意識改革です。市長就任にあたって全職員に対し、まず「町職員ではなく、市の職員になったという意識改革」「市ではなく、市民に雇用されているという意識改革」「効率的で温かい行政サービス提供への意識改革」という3つの意識改革を指示しました。

また、女性に積極的に市政に参画していただくために、市の各種委員の2割以上を女性委員にすることを施政方針でお約束してまいりましたので、この結果と現在進めている改革についてご報告します。

(1) 「市の各種委員に女性を2割以上」を確実に実現しています

教育委員会委員、選挙管理委員会委員、固定資産評価審査委員、地域審議会委員等すべて2割以上が女性です。もちろん、行政改革推進委員も同様にします。

今後もこの方針は貫いていきます。

(2) 職員のコスト意識の徹底を図ります

職員の意識改革の一端ですが、コスト意識を徹底させ、ムダを省くため、コピー用紙の裏面利用を図ることにしました。

1月から3月まで3カ月間の本庁と各支所のコピー用紙使用量は2,047,500枚でした。これが減少していくよう努力を開始します。そのため、3カ月ごとにコピー用紙の使用量を市民の皆さんにご報告します。

(3) 職員に対し、あいさつの徹底を指示しました

これも職員の意識改革の一つですが、来庁された市民の皆さんへのあいさつを徹底するよう指示しました。あいさつのできない職員に仕事ができるとは思えません。

以上の3点につき、今後も徹底してまいります。

三豊市長 横山 忠始

三豊市民生委員児童委員協議会連合会が誕生しました



4月28日、三豊市役所で三豊市民生委員児童委員協議会連合会設立総会が開催されました。三豊市発足に伴い、7つの町にあった民生委員児童委員協議会が連携して「福祉のまちづくり」の基礎を築き、地域福祉、在宅福祉の向上を図るため連合会を結成することとなり、この日の設立総会により三豊市民生委員児童委員協議会連合会が誕生しました。

総会では会則や18年度の事業計画などが決議されたほか、香川県健康福祉部長寿社会対策課副課長の「介護保険制度の改正について」の講演が行われ、会場の委員の皆さんは熱心に講演に耳を傾けていました。

三豊市体育協会が設立されました

4月27日、高瀬支所で三豊市体育協会の設立総会が開催されました。

総会では協会会則や事業計画、役員が承認され、今後、26団体の各種スポーツ団体が、三豊市において活動、各種大会を開催する予定です。これらの大会を通じて、国体選手やオリンピック選手が多く輩出されることを期待します。

体育協会会長 楠本久雄 副会長 増田順一・三宅 喬

三豊市長杯スポーツ大会の開催について

平成18年度から各種スポーツ団体の主催による、三豊市長杯スポーツ大会を開催します。子どもから高齢者の方まで参加できる大会を随時開催しますので、健康づくり・体力づくりのためにぜひご参加ください。大会等の情報は広報でお知らせしますので積極的なご参加をお願いします。